# たねの不思議

| | |
|---|---|
| 時　期 | 秋 |
| 時　間 | ２時間 |
| 場　所 | 校庭，公園，野原 |

○いろいろなたねを見つけ，それぞれが違った特徴をもっていることに気付く。

## ねらい

**親しむ**　・体験を通して，身近な自然への興味・関心を育てる。

**知　る**　・様々なたねの形や性質のおもしろさを知り，さらに積極的に探したり，そのしくみを調べたりしようとする態度を育てる。

## 活動展開例

第１学年　生活「あきってきもちがいいね」

| 準備物 | ・軍手　・たねを収集するためのポリ袋　・水筒（必要に応じて） | | |
|---|---|---|---|
| | 時　間 | 活　動　内　容 | 留　意　点 |
| 展開 | 10分 | ○様々な植物のたねを見つけに，校庭，公園や野原などに出かける。 | ・たねを採取できる場所を事前に調査しておく。 |
| | 20分 | ○いろいろな「たねさがし」をする。 | ・児童の安全に気を付ける。<br>・児童の状態を見て，適宜休憩をとるようにする。 |
| | 20分 | ○集めたたねをなかま分けする。<br>・くっつくたね（通称「ひっつきむし」）<br>（オオオナモミ・センダングサ類・チカラシバ等）<br>・転がるたね<br>（トチノキ・ドングリ類・ツバキ・チャノキ等）<br>・風で飛ぶたね<br>（ススキ・セイタカアワダチソウ・カエデ類・ユリノキ・ハナツクバネウツギ・イヌシデ等） | ・どんなものがたねであるかを考えさせたり，教師から紹介したりして，どんなものを探すかを理解させてから探しに行かせる。<br>・危険な虫に注意する。<br>・軍手をつけさせ，「ひっつきむし」がつきやすいようにする。<br>・見つけたたねを持ち帰るポリ袋を持たせる。 |
| | 20分 | ○見つけたたねの性質を使って遊ぶ。<br>（洋服につける，滑り台で転がす，高いところから飛ばす等） | ・カエデ類等の樹木のたねの飛ばし方は，教師が紹介する。<br>・たねの性質のおもしろさに気付けるよう適宜助言をする。 |
| | 20分 | ○学校に戻り，気付いたことや，もっとやりたいこと（たねの性質を使って遊ぶゲームなど）を話し合う。 | ※シャボン玉のできるたねがあれば，遊び方を紹介するとよい（ムクロジやエゴノキ等）。 |

低学年

## 活用ガイド

### ○参考（遊べるたね）

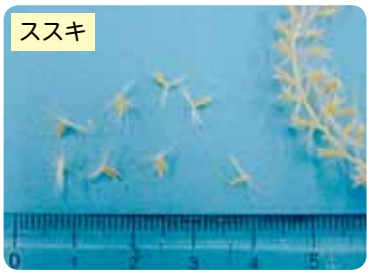
**・くっつくたね**

オナモミ類…布に的をかいて，ダーツにして遊べる。
オナモミ類・センダングサ類・チカラシバ等…多くのたねを使えば，布につけて絵が描ける。

**・転がるたね**

転がりやすいたねは，転がして遊ぶ迷路やコリントゲームなどで遊ぶことができる。
ドングリ類は，楊枝をさすとドングリごまになる。

**・風に乗って飛ぶたね・回転しながら落ちるたね**



ススキ等綿毛を持つたねは，息で吹いて飛ばして遊べる。どこまで飛ばせるか競争するのも楽しい。

翼を持つたねは，高いところから落として，誰がゆっくり落とせるかを競争すると楽しい。また，カエデ類のたねに落ち方を似せたおもちゃ（P63参照）を作って遊ぶのも楽しい。アオギリは，ステージの上など，少し高いところから落とすとよい。

低学年

## ○活動の様子

よく転がるよ。振るとからから音がするドングリと，音がしないドングリがあるよ。音がしないドングリの方が早く転がったよ。

軍手についたねで顔を作ったよ。

足にもついたよ。かわいいでしょ。

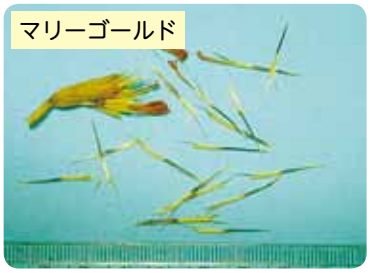
くるくる回りながら落ちるよ。いっせーの，せっ！

## ○発展

その他，いろいろな種子を紹介する。これらは３年理科「植物の一生」で，発展学習として扱うとよい。

低学年

・**いろいろな種子**（色，模様，形，大きさが様々であるところに着目させる）



・**シャボン玉のできるたね**

サポニンという物質が含まれているので，水にひたすと泡立つ。

・**いろいろな種子**…接触でとぶたね（ホウセンカ・スミレ・カタバミ等）
アリに運ばれるたね（スミレ・カタクリ等）

## ○他教科・領域等での活用

・第３学年　理科　「植物の一生」
・第１・２学年　道徳　「がんばれポポ」〔内容1－(2)〕

## 本プログラムの作成において参考とした文献

○多田　多恵子　「身近な草木の実とタネ　ハンドブック」　文一総合出版（2010）
○多田　多恵子　「身近な植物に発見！　種子（タネ）たちの知恵」　日本放送出版協会（2008）
○多田　多恵子　「花のたね・木の実のちえ①　タンポポのわたげ」　偕成社（2008）
「花のたね・木の実のちえ②　スミレとアリ」　偕成社（2008）
「花のたね・木の実のちえ③　モミジのつばさ」　偕成社（2008）
「花のたね・木の実のちえ④　ドングリとリス」　偕成社（2008）
「花のたね・木の実のちえ⑤　オナモミのとげ」　偕成社（2008）
○小林　正明　「花からたねへ」　全国農村教育協会（2007）
○高森　登志夫　「たねのずかん　●とぶ・はじける・くっつく●」　福音館書店（1990）
○「第38回企画展　とんダネ・ついタネ・およいダネ　～種子の不思議を科学する～」
ミュージアムパーク茨城自然博物館（2006）

## 施設紹介

○根本山自然観察センター

季節，滞在予定時間，人数，年齢構成に応じた活動を，センターの自然観察指導員から提案していただける。自然観察の際には，自然観察指導員にガイドを頼むことができる。

入館並びに各プログラムの体験はすべて無料。

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館），祝日の翌日，年末年始

〒321－4311 真岡市根本56－11

TEL 0285－83－6280　　FAX 0285－83－4624

低学年